

団体名：特定活動非営利法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク

助成額：99,234 円、助成回数：2 回

【「未来につなぐ募金」助成事業活動の目的】

豊島子ども WAKUWAKU ネットワークは、「子どもの貧困」をテーマに地域の子どもを地域で見守り育てるこことをコンセプトとして立ち上げた地域住民主体の団体です。見守るための居場所を地域に点在させて、ネットワーク化に取り組んでまいりました。今では、「としま子ども学習支援ネットワーク」「としま子ども食堂ネットワーク」の2つのネットワークが誕生し、定例会をおこない、他団体の立ち上げを応援したり、情報共有をしています。すべての子どもたちが家庭環境に左右されることなく、自分の人生を希望をもって歩んでくれることを願っております。そのためには、行政との協働、地域のさまざまな人たちをつなげていくことが必要です。貧困の連鎖を断つことは容易ではありませんが、本事業がその一助となると思います。

【「未来につなぐ募金」助成事業活動のまとめ】

代表の栗林他何人かの東都生協組合員メンバーは、子どもたちに新鮮なお野菜や肉、など、食べてもらいたいね。という、気持から応募しました。4つの食堂の集約は短い期間で大変でしたが、2回目はたがいの食堂のスタッフが理解をしてくれ、報告の写真や様子など、ラインやメールで知らせてくれるなどして、WAKUWAKU のスタッフ同士の共有の場にもなりました。普段食べられない食材を利用して、各食堂のスタッフも奮闘していました。選べる助成は幅が出来、良かったと思います。子どもたちもフルーツやお土産のパン、普段とは違う美味しいお米など喜んでいました。4つの食堂の日程がまちまちなので、担当のいる食堂では、助成金額を増やし、その日は全て東都生協の助成で賄い、他の食堂は、保存のできる範囲の物の助成などと工夫をしました。たくさんの組合員の募金により、助成していただき助かりました。スタッフ一同感謝しております。ありがとうございます。



